

いまいは今
vol.130

発行 今井町町並み保存会
発行日 平成23年 4月 1日
電話 0744-22-1128
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は
今井まちづくりセンターまで

震災義捐箱を設置しました

東北地方太平洋沖地震により被災された皆様ならびにご関係者の方々に心よりお見舞いを申し上げます。

東日本の広域を襲った震度9.0という未曾有の大震災で多くの方々が被災されています。被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

当保存会でも被災地のためにできることをしようと考え、義捐金箱を町内7ヶ所（華薈・まちづくりセンター・旧米谷家・まちや館・河合酒造・恒岡醤油店・古伊）に設置しました。義捐金は5月に行われる町並み散歩の日まで募集いたしますので、ぜひとも町内の皆様もご協力をお願いします。

県外研修報告（神戸市魚崎郷）

今年は何年と異なり重伝建地区への県外研修でなく平成7年（一九九五年）の神戸・淡

路大震災に遭われた神戸市東灘区魚崎地区の復興プロセス勉強会になりました。



元禄時代（一六八八年）から酒造り地帯として有名で、「灘五郷」と呼ばれ（今津、西宮、御影、西そして魚崎）日本一の酒どころの自負があった所です。特に魚崎郷には、有名酒造会社が多く点在していました。

しかし、大震災によって全滅すると直ちに動き始めたのは、地域住民でなく、企業ディベロッパー（宅地造成会社）が点で押さえ始めたこのことです。

当時の日本酒造業界の衰退もさることながら、震災で破壊された地域の地主には、多く酒造会社であった故に、この時とばかり土地売却に傾いたのかもしれない。

有名な酒造会社は復興に手がけ平面から立体構造にして、効率の良い会社再建を試みしました。そして震災を機に、用地の他への転用（住宅、ビル、マンション等）を試みたりも領けました。

本来であれば、昔ながらの町並みを再現して残しておきたかったのですが、残念ながらそれは叶いませんでした。

そこで魚崎地区の保存会の皆さん（先に魚崎郷まちなみ委員会に改称）は平成10年（一九九八年）景観形成市民協定の認定を受け、団体としての活動を開始、将来像を模索し始めました。

← アウトライン確定

← 活動のための組織編成

← 将来像実現に向けた実施計画作成

← 協働による活動の推進

← 将来像の実現へ

と地域をネットワークでつなぎ、パートナーシップ協定を活用し、各種の助成制度を活用しながら実現への取り組みを始められたことで私達にとっても参考すべき項目が沢山ありました。

伝統的で個性的なまちなみづくりを目指された活動は大いに評価され、平成20年6月25日、国土交通大臣賞を受けられました。

又、平成21年12月22日、魚崎郷地区住民を一軒一軒回って地区計



画が決定され、「魚崎郷地区景観形成市民協定」が発効しました。

これにより当地区内でのホテル、パチンコ、飲食店等の一切の営業ができなくなったことは特筆すべきです。

この「魚崎郷地区景観形成市民協定」は事細かく作られているのには驚きの一語です。魚崎郷まちなみ委員会の皆さんにこれまでの労をねぎらい帰途につきました。

(西川禎俊)

第4回今井小学校卒業茶粥開催

2月27日(日)今井小学校卒業生とその父兄を対象とした茶粥体験が開催されました。



今年は過去最多の53名が旧米谷家に集合、児童たちは、かまどの火で炊いた茶粥を食するだけでなく、準備作業の手伝いや後片付けにも積極的に参加してくれました。

今回は今井小学校の先生だけでなく、

市内外の学校からの視察参加があり、また奈良テレビや奈良新聞・朝日新聞の記者も来るなど「今井の茶粥」をアピールする良い機会ともなりました。

今回の卒業茶粥について今井小学校の島田

校長先生より次のようなメッセージを寄せていただきました。

「今井小学校の六年生を招いていただく「大和今井の茶粥の会」も四回目となり、二十名を超える子どもたちが、掃除やかまどの火の世話など日常ではできない体験をさせていただきました。「初めてすることはかりでした。」と多くの子どもが楽しそうに話していました。昔体験だけでなく、人をもてなす気持ちの大切さや保存会の人の心に触れることができた充実した時間でした。」

旧米谷家に机を整備しました

旧米谷家に茶粥で使用の調理用机を新調しました。これまでは事務机を持って使っていました。これで専用の机が使えます。



設計は「快適な住まいを考える会」で町並み散歩のときにも堺から今井まで歩いて下さる奥野浩徳さん、製作は今井町の建具師・當麻龍二さん、材料は吉野の杉と桜です。

中世には「海の堺か陸の今井か」と言われた今井と

堺、そして今井兵部が大坂城、伏見桃山城の作事奉行の頃、吉野の材木を大量に用達し、吉野の植林が始まりました。

今、机を製作することで堺・吉野と今井の交流が一つ再現できました。

防災フェスティバル報告

3月6日(日)今井防災フェスティバルが行われました。避難経路を確かめながら、今井小学校東側の天理分教会に集合しました。

その後、小学校校庭にて、負傷者への応急手当の仕方や毛布と竹竿を使った簡易担架の作成など実践的な訓練を行いました。

また煙体験の車で実際火災に遭った場合の避難の困難さを体験することができました。今回の東北地方太平洋沖地震の例を見るまでもなく、普段の訓練の大切さが重要であることをひしひしと感じました。

いまい往来

4月2日(土)

今井町並み散歩プレイベント

茶行列衣装の展示と着付け撮影会

於 まちや館

4月17日(日)

シリア国首都圏から研修のため来町

4月22日(金)午後6時

今井町町並み保存会総会

於 華薈

編集後記

今年も町並み散歩の季節が近づいてきました。今回は「今井の商いと文化の再興」をテーマに重伝建地区にふさわしい商いと文化を考え、また災害に遭われた方々を今井から応援出来る場になればと思います。